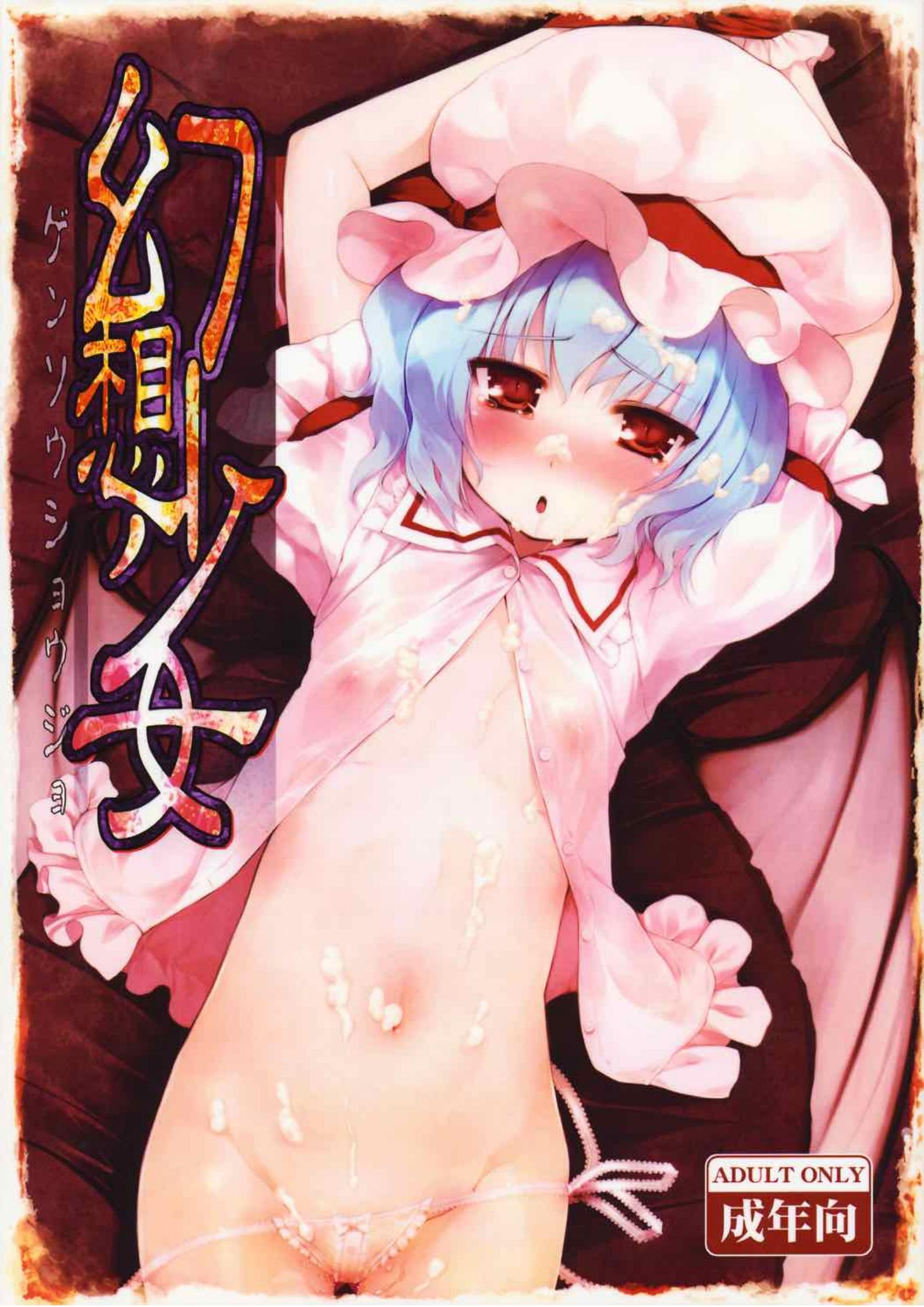


戀想少女

ケンソウシヨウジョウ



ADULT ONLY  
成年向

まったく何なのよ……

屋敷中に灑う

この甘い匂いは

全然寝足りないわ……

月もまた昇りはじめた  
ばかりだというのに

咲夜がまた新しい食材でも  
見つけてきたのかしら

おかげでやたらと  
のどが渴くじゃない……

あの馬鹿メイド……  
お仕置きしてやろうかしら

ほんとに……  
何なんかしらね

今までにこんなに  
のどが渴いたなことなんて  
あったかしら……

喉が……  
喉が痛い……  
渴きすぎて  
やばいわね

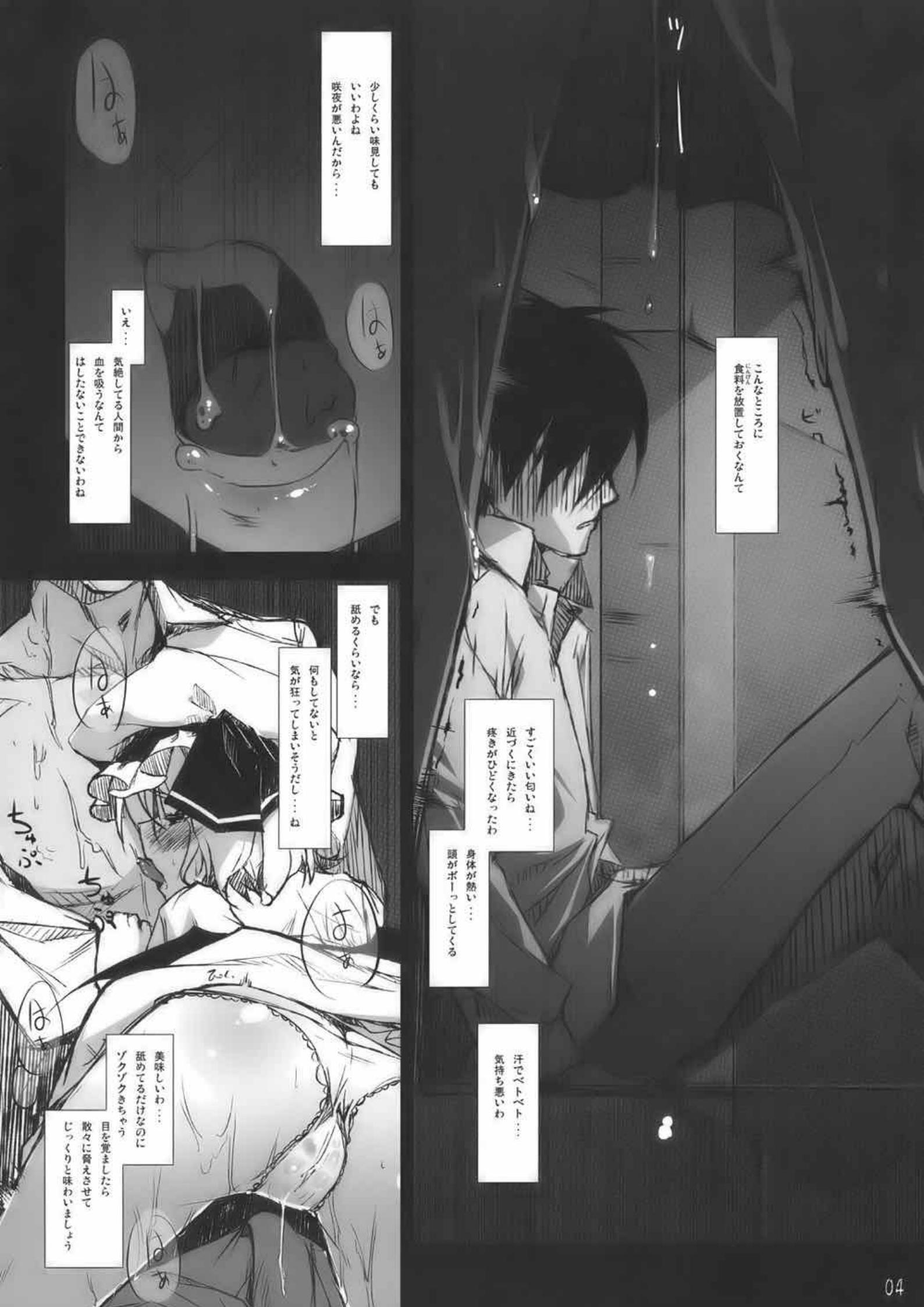
はあ

ん

ああ……

お腹も減りすぎたのか  
なんだか疲いてきたわ

まったく……  
まったく……



こんなところに  
にらみ  
食料を放置しておくなんて

すごくいい匂いね…  
近づくにきたら  
疼きがひどくなつたわ

身体が熱い…  
頭がボーッとしてくる

汗でべトベト…  
気持ち悪いわ

少しくらい味見しても  
いいわよね  
咲夜が悪いんだから…

でも  
舐めるくらいなら…

何もしてないと  
気が狂つてしまいそうだし…ね

美味しいわ…  
舐めてるだけなのに  
ゾクゾクきちゃう  
目を覚ましたら  
散々に脅えさせて  
じっくりと味わいましょう

いえ…  
氣絶してる人間から  
血を吸つなんて  
はしたないことできないわね

「」



おつきい！  
それにすごい匂い  
とても美味しいぞう…



とてもいい匂い  
お腹がすいたってよりも  
なんだか違う…  
この匂いを嗅いでいると  
お腹の奥が疼いてくるわ



白いのって…精液？  
こんな可愛い子が  
俺の精液を？  
私が命令してるというのに  
はやく出しなさい !!



この液体が  
匂いの元なんかしら



!?



それは…いただいちゅって  
いってことですか？!  
聞いてるの？  
早く出しなさいよ  
出してくれるなら  
何でもいいわ  
早くしなさい  
いただきますっ !!

なつ 何をつ ?!





まだ…なの?

だまされた…の?  
人間ごときに  
この私が…

ヤニ

なっ身体の奥に…  
かつたいのがぶつかつてくりゅうつ

いつ  
入れれば出るつて  
いってたじやない

動いてお○んちゃんを  
じこかないとでないんだ

くるしいのつ  
なんでもいいから  
早くして…つ

はーい  
じやあ動くね

まつたくグズな人間ね…  
早く済ませて…

ああああああああ

!!!

無理  
止まれないよつ  
とりあえず  
一発目出しちゃうぞっ!

考えられなくなつてく…

やばいわ…コレ  
頭が…何も

肉棒と擦れる肉が  
快感の悲鳴を上げてくる  
私の中を目一杯こじ開けてるモノが  
ピクピク裏れながら私をかき混ぜてくる

ビ…

何かがつ  
奥にぶつかつてくる  
染み込んでくるう…つ!!

!?



これさっきの  
美味しい汁？

ヒク



爆ぜちゃう！

もう入らないわっ



なんだか  
口から飲むよりも  
美味しく感じてる

お腹パンパンで  
痛いくらいなのに  
身体が喜んでる…わ  
なんなの…これ

ちょっと怖いわ…

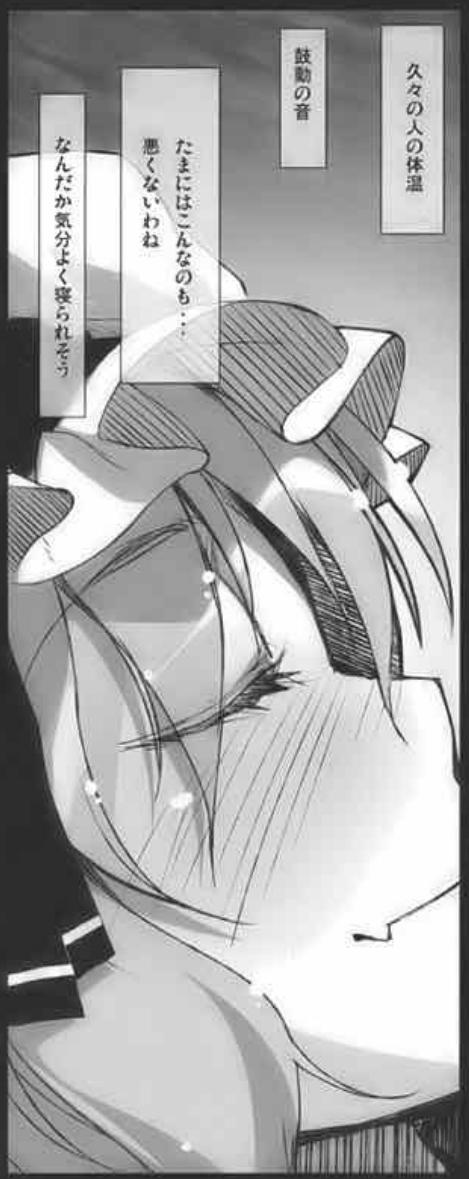
出したばかりなのに  
まだギンギンだ（笑）

もう 発いこうかー



抜かずにガンガン  
いつちやうぞー





ここは...私の部屋?  
咲夜が運んてくれたのかしら







あなた幻想郷の  
人間じゃないわね

げっ ゲンソウキョウ?

ここは幻想郷  
忘れられたものが流れ着く  
妖怪と人間が暮らす秘境の地よ

うわああー

もっとしっかり  
つかんでくれー!!

やつぱり夢だ!  
そうだ  
だからたぶん  
落ちても大丈夫なんだ!

H A H A H A

あなたは次元の隙間に  
落っこちてこちらの  
世界に迷い込んだのね

ずっと  
うちに置いてあげるわ

ひつ  
!?

あと、わつ  
私のことは  
「レミィ」でいいぞ

いい加減に目を覚まささい！

痛てててて…？

普通は元の世界に  
帰れるかどうかを心配する  
もんじやないの？

じゃあ俺のことは

あなたなんて非常食で十分だわ

幼女にあんなことや  
こんなことをして…  
捕まるじゃないかっ

ゆつ夢じや…ない！？

安心しなさい  
ここでは力の強いものが正義

人里ならいざ知らず  
紅魔館にいる限りは  
問題ないわ

食料でも構わないさ  
食べられるその日まで  
目一杯気持ちよくして  
あげるからねっ

へつ  
変なとこ触るなっ！  
落とすぞ！？

大丈夫、  
もうレミへの  
恋に落ちてるから

ばっ馬鹿！  
飛んでいる最中に  
あばれるなっ！

なっ！？むっ胸をやりぐりするなっ！

この食料！

落らるづ

おっ 落ちるっ  
ヤバい  
ヤバい

！？

やめてっ  
この高さは  
死んじやうよ

死ねっ 馬鹿者っ

マジで…うわああああああああああああああ

しつかミンチにして  
食べてやるんだからねっ

ぶじー

!!

確かに



普通に敏感なところも  
もっと感度がいい気がするよ



普通に敏感なところも  
もっと感度がいい気がするよ



よーし まだびんびんだぜ  
ガンガンいっちゃんやうよー

レミィは足も敏感だよねー



だあああーツ！

私でもこう毎日激しくされてたら  
身体が持たないわよー

とうぶんお預けよ！  
いいわね？  
私が許すまでダメよっ！？



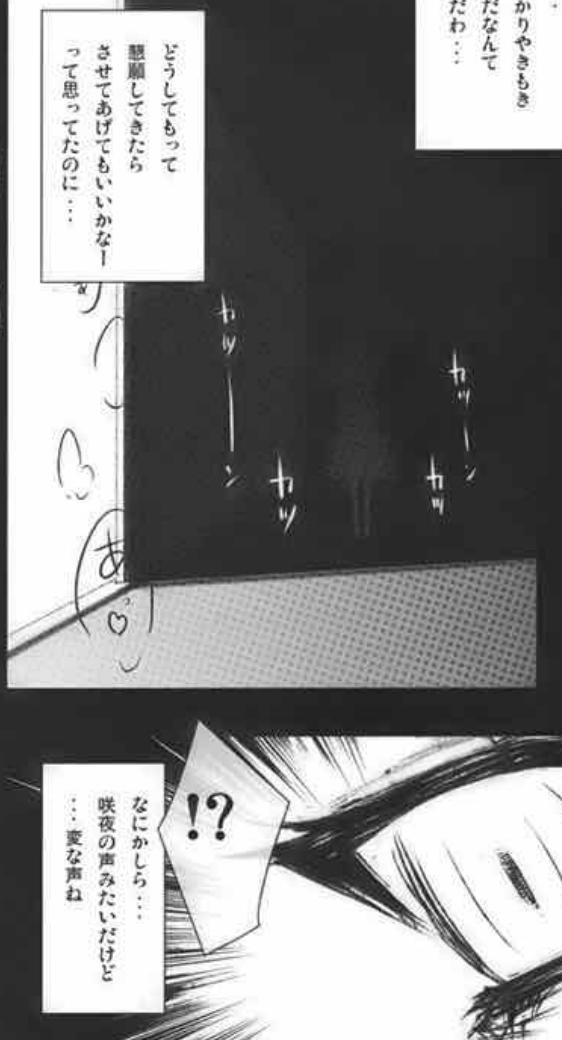
あれから数日

ゆつたりとした  
安らぎの時間

んー<sup>。</sup>  
いい香りだわ



うーーー  
私はばかりやきもき  
してるだなんて  
不公平だわーー





そろそろお別れね…

最後にもう一度  
楽しむとしましょう

我慢できたいこ妻美よ  
目一杯好きにしていいわよ

今日は私が上で  
気持ち良くしてあげるわ  
「こ妻美たるもの  
じつとしていなさい」

あなたも…  
お腹にピクンピクンって  
してるのが当たってるわよ

レミイの  
すつこじぐらゆぐちゅだよ



ほんと?  
気持ちいいの?

上手だよっ  
シコッ

最初くらい  
いいじゃない

ずっと時間はあるんだから

すぐに出ちゃうぞうだ

ちょ  
なにしてるのっ!?

えいっ!  
びくびくしただ

おっしゃいのおんー<sup>ン</sup>  
動きづらい…から  
やめてちょうだ…い…っ

気持ち良くしてくれる  
レミイへのお礼だよ

私が…気持ち良  
くしてあげたいのっ

動かすに密着して  
ピクピクしておおんー  
感じてるだけでも  
気持ちいいよ











泣くほど惜しいんでしょ？

うるさいわねっ！

たかだか食料一匹のことで  
この私が涙を流すわけないじやない

強がつちやつて……

あいつは覚えていて  
くれるんだろうか

私が泣きなけば  
ずっと一緒に……

ありがとう

永遠に生きてくれるんだから

レミリア・スカーレットの  
名にかけて  
恩には報いるわ

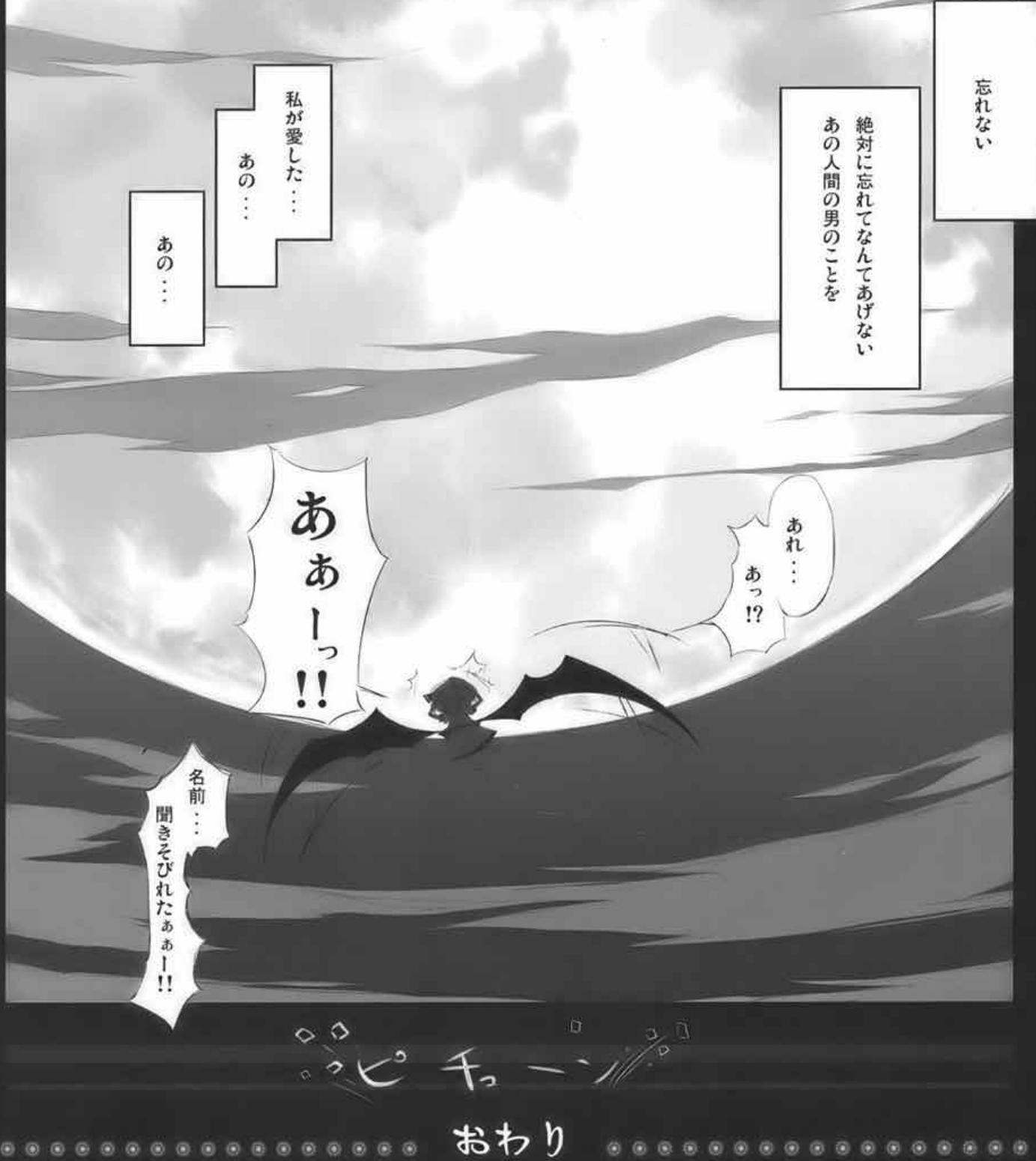
そんなにお礼がしたいなら  
お賽銭でも入れておきなさい  
今月もほんとうないのよな……

あと、  
私は泣いてなんかいないからな？

絶対だからなっ！

はいはい  
わかったわよ

食料ここののことで  
泣いたなんていい振らされたら  
食い意地がはってるって  
笑いものにされてしまうわっ



おわり

### あとがき

はじめまして、ちんちくりんと申します。  
この度は「幻想少女」お買い上げありがとうございます。  
東方ジャンルでは友人と一般向メインで活動してます。エロいのも作ってみたいなー  
と思ってやっちゃいました。  
所々強引な部分があると思いますが、ストーリーよりもエロ優先にしちゃいました。  
エロカットを一つでも多くしようとストーリー部分を削る日々…  
最終的にはまったく別の話になってしまった。はい。  
それでは、また次の機会に。

### 奥付

説名：幻想少女 ゲンソウショウジョ

著者：ちんちくりん 発行：珍々林 <ccc@chinchikrin.sakura.ne.jp> 発行日：2010.4.14

印刷：有限会社ねこのしっぽ

※この本は成年向けです。18歳未満の方の閲覧及び購入を禁止します。

※この本は「上海アリス幻樂団」の「東方Project」の二次創作作品です。上海アリス幻樂団及びZUN氏との直接の関係はありません。

